

○ 4月16日(日)開催 第3224回例会
市民山の会月例会同調

「かつて氷を運んだ古道コース；約6km」

一王山支部 由良 八郎



- ・参加者数；184名(ヒヨコ会員46名)
- ・天候；晴



鶴甲公園にて出発前の朝礼

【アイスロードの歴史・由来】

表六甲ドライブウェイの途中から前ヶ辻に通じる谷筋に行く古道。山頂から夜のうちに大八車にのせて氷を運んでいた事がアイスロードの名称の由来。明治の初め頃の最盛期には三国池や黄楊池など、大小30の池で製氷が行われた。六上の天然の氷は、電気冷蔵庫ができるまでは高価なものであった。

一王山が担当山筋の前回例会は雨天の為、コース変更で実施しましたが、今回は昨夜の雨も上がり、好天気にも恵まれた例会となりました。

スタート後車道の歩行が続きましたが、登山口からアイスロードコースに入り、新緑鮮やか古道コースとなりました。

コース途中に六甲川の渡渉があり、付添いを行いました。老若男女183名と握手し、手助けしました。私の腕を握られた時は、ハイカの転倒時は共倒れと思いましたが、無事付添い出来ました。道路横断部の誘導担当で最終者まで見届け、その後渡渉付添いの為、先頭まで移動は疲れ

ました。移動中は皆様のご協力で、コースを開けて頂き先頭まで辿りつきました。限界に挑戦するお年寄りの参加もあり、途中下車は出来ないので、宥め賺し(なだめすかし)のハイキングとなりました。

高齢者以外に3歳の女の子の参加もありました。皆さん元気で、落伍者・トラブルなく無事到着できました。お礼申し上げます。また下山時(油コブシ約4km)にも一般参加の方を同行して頂きました。お疲れさまでした。

高年齢者以外に3歳の女の子の参加もありました。皆さん元気で、落伍者・トラブルなく無事到着できました。お礼申し上げます。また下山時(油コブシ約4km)にも一般参加の方を同行して頂きました。お疲れさまでした。



(一王山；ヒヨコ～12名、一王山～6名、一般～2名)